



宜野湾市

Ginowan City

「FUTENMAチャンプルー」



アートや音楽、情報の発信基地として人気のカフェ

「人づくり、横の連携づくりが大切」と実感しています。カフェのオーナーである三枝克之さんは「働くことと暮らすことのバランスの良い場所を求めていたら、なんとなく居心地の良い街、FUTENMA」に辿り着いた。この街なら、衣食住にデザイン性やアート性を加えた魅力づくりができる」と、自身のカフェで音楽やアートのイベントを数多く主宰しています。比嘉さんや三枝さんに刺激を受け、三年前にセレクトショップをオープンした友知公宏さんは「地域づくりの取り組みが街の誇りになれば、それが文化になる」と話します。地域ブランドづくりを通して、策定委員それぞれのビジネスにも相乗効果が生まれていました。

『FUTENMAチャンプルー』をコンセプトに、ぎのわんブランドで人をつなげ！

リゾートに田芋畑、外人住宅にカフェ。表情豊かな宜野湾市

地域の約三割を米軍基地が占めている宜野湾市には、国道58号線沿いに輸入雑貨店をはじめとしたアメリカナイズされた店舗が建ち並び、西海岸沿いには沖縄コンベンションセンターやホテル、宜野湾マリーナなどの開放的なリゾート風景、豊かな湧き水に恵まれた大山地区では田芋畑ののどかな風景が広がります。多彩な表情をみせる宜野湾市で、新たな「地域ブランド」づくりが動き出しています。



輸入インテリアを扱うショップが建ち並ぶ国道58号線と、のどかな風景が広がる大山の田芋畑。さまざまな表情を見せるのが宜野湾市の魅力のひとつ



カフェやホテル、レストランなど、多くの参加店舗がアイデアと技を競った「田芋スイーツ・料理コンテスト」入賞作品

市商工会では、日本中探してもココにしかない「地域ブランド」を作ることとを目的に、平成二十年度から「ぎのわんブランド策定事業」に取り組んでいます。「南米やアジアなどからの移住者の多い宜野湾市は、多国籍な文化が入り交じっていることから『FUTENMAチャンプルー』というブランドコンセプトが生まれました」と、市商工会経営指導員の平良雄史さんは話します。「FUTENMA」とは、全国的に知名度の高い「普天間」と、米国、アジア等の異文化を取り込み、沖縄の要素を融合させた街「宜野湾市」を表しています。昨年、FUTENMA Aチャンプループロジェクト第一弾として、地域資源である「田芋」をモチーフに田芋スイーツ・料理コンテストを実施しました。応募作品の中から商品化に向け、新たな事業展開が期待されます。

人やネットワークが特産品のユニークな発想

今年度は、「FUTENMAクリエイティブ」をテーマに市のブランドイメージ向上をめざし、FUTENMA Aブランドブック、ホームページ作成、田芋カフェプロジェクトなど新たな事業を展開中。また、琉球王朝時代に中国などの技術者を迎えた久米三十六姓にちなみ、世界中からクリエイターを宜野湾市に招へいする『FUTENMA 36』の構想も新たにふくらませています。



「田芋カフェ」イメージデザイン



宜野湾市商工会
☎098-897-0111
URL <http://www.ginowan.or.jp>

「宜野湾市に学ぶ！」
元氣プロジェクトの開発ヒント
街が持つ国際性や多様性を「FUTENMAチャンプルー」という個性的なフレーズで表現
地元出身者にこだわらず、街の魅力を再発見できる多彩なメンバーの自由な発想がきっかけ
特産品づくりだけでなく、街づくり・人づくりが「地域ブランド」
「無理しない」「飾り過ぎない」
自然体で長期的に取り組む姿勢が大事

の場で田芋スイーツを味わえるカフェを作りたい」と、プロジェクトに意欲的です。
「田芋はあくまでモチーフのひとつ。そこに関わる人やネットワークが特産品と、ブランド策定委員長の伊敷豊さんは語ります。
FUTENMAの新たな地域づくりを世界に発信していくために、人とアイデアが集結するネットワークづくりが始まっています。

居心地の良い街FUTENMA「ぎのわん」から広がる魅力

地域ブランド策定委員のメンバーは、国道58号線から普天満宮に向かう県道81号線「普天間でいご通り」にあるカフェやセレクトショップなどの若い経営者たち。実は宜野湾出身者ゼロという珍しい構成です。そのため、普天間の古い社交街や外人住宅などを巡り、地元の魅力を新しく発見・再認識することから地域ブランドづくりを始めました。



多彩なメンバーが集結した「FUTENMAチャンプルー」ブランド策定委員会の皆さん

雑貨とインテリアのショップを経営する比嘉祥さんは「宜野湾にはいいものがたくさんある。発信の仕方が不十分なだけ。ブランドづくりは

編集後記

先月の旧盆に妙な体験をしました。家族で義伯父の家を訪ね、お中元に仏壇に供えた瞬間、部屋の電気が消え、その場にいた全員が軽いバニックに。気を取り直し、仏壇の前で今は亡きオバアの思い出話をしていたら、供え物が仏壇から転がってきました。もしかして、オバアのいたずら？(tako)

出張で宮崎県庁に行ってきました。歴史的建造物として有名な宮崎県庁は、現知事のおかげで一日1,000人を超える観光客が訪れる今や人気観光スポット。県庁前広場にはカフェがあり、正面玄関には知事等身大のパネルがお出迎えと一風変わった県庁です。知事のパネルは記念写真を撮る観光客がおでこ部分をなでるせいかとても輝いていました。(momo)



アンケート
「美ら島沖縄」のご感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県広報誌
平成21年10月1日発行第33巻10号通巻409号
美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020
●表紙 写真・島袋常貴 / 田芋畑のあぜ道を元気に歩く子どもたち(宜野湾市)